

本当の事を知る権利

新聞記事にトキの絶滅は人間に責任があり、営巣場所の森は切り開かれ、水田の餌は農薬で汚染されているとあった。農薬が絶滅の一因であるかのようにも読める。トキは昔北東アジア一帯に多数棲息していた。徳川幕府が保護にのり出す程減少し、明治になって激減、大正末期の教科書には、既に世界中にいない幻の鳥と記されていた。「トキの棲む地球上の一点佐渡」と詩人深尾須磨子も色紙に書いている。日本以外のトキはどうなったのだろうか。昭和2年新潟県では、懸賞金を付けてトキの発見者を求め、昭和5年に発見者が現われている。農薬など無かった環境の中で絶滅への途を歩み、種の維持が困難な数になったのではないだろうか。

他の病気が制圧されていくにつれて、ガンが死因の第一位になった。何だかガンに侵され易い環境になったような気もするが、年令補正をしてみると、人口当りのガンで死ぬ人の割合は昭和10年と較べて男性では横ばい女性ではむしろ低下しているという。

いかなる物質も高用量なら妊娠に有害作用を示すというkarnofskyの法則というのがある。ビタミンAの大量投与で、ラットに奇形が発生した報告もある。二重体児は320年も前から幾多の報告があり、殊に印度支那半島で多いと言われてきた。また、全国の動物園で猿に奇形が発生した例はないと言われている。

一般の人々はこれらの事実を知らないし、知る必要もないであろう。だが、間違っただけを知っている人が少なくない。何故だろうか。マスコミは「知る権利」と呼ぶが、「本当の事を知る権利」があると叫びたい。

目 次 (第22巻 第5号)

巻 頭 言

本当の事を知る権利…………… 1

＜(財)日本植物調節剤研究協会理事
(財)残留農薬研究所理事長＞

福田秀夫

北海道における一発処理剤の普及に伴う問題点…………… 2

＜(財)日本植物調節剤研究協会理事
北海道支部長＞

島崎佳郎

落葉果樹における植物調節剤の利用の現状と問題点…………… 7

＜果樹試験場栽培部 間苧谷徹＞

昭和62年度秋冬作野菜・花き関係除草剤・生育調節剤試験成績概要…………… 15

＜(財)日本植物調節剤研究協会

技術部＞

昭和62年度畑作物・野菜花き関係生育調節資材試験成績概要…………… 27

＜(財)日本植物調節剤研究協会

技術部＞

民間研究所めぐり…………… 29

三共株式会社農薬研究所

植調協会だより…………… 30

〔(財)日本植物調節剤研究協会 理事 福田秀夫
(財)残留農薬研究所 理事長〕